

なかよし
中里オスカル
ジャブチ受賞

「ブラジル文字」に登場する日本人像を探る 10

(3)

中田みちよ

ながた

不妊治療天国

ふにんちりょうてんじく
国外からも患者が続々
不妊治療は恥ずかしい!?



不妊夫婦は世界に約5万組とも言われる。女性の社会進出とともにない婚姻、晚産化が進む今日、不妊治療に注目が集まってきた。しかし、精子や卵子の売買の可否など法的な難題が多く、希望者への規制も厳しいのが現状だ。一方、ゲイ（同性愛）、事実婚カップル（夫婦）への治療や条件つきの代理母出産など、ブラジルは緩やかな規制で多くの人に門戸を開いている。子どもの誕生を無条件に喜ぶ傾向の強い当地は、海外最大の日系社会を擁していることから、も潜的に有望な卵子提供国といえる。聖市での不妊治療院でボランティアを務める戦後移民女性・片島里美さん（仮名）は、そんな現状を評して「不妊治療天国」と呼んだ。（兒島阿佐美記者）

日本政府観光局が初出展

日本政府観光局が初出展

（2013年8月2日付）

（2013年8月

